



飯梨地区のイチオシ！



見晴らしは風土記保証 ～登山客で通年賑わう車山～



▲飯梨交流センター横の案内看板と遠方に見える車山。案内看板は、木製のものや交流センター設置のものなどが主要な通り道に設置してあります。

◀山頂から見た飯梨地区。夏は青々と広がる田園風景を楽しめます。

奈良時代、国ごとでつくられた「風土記」。欠けなく残っている「出雲国風土記」には、安来の産物や地形、伝承、地名の由来などの記述も多く見られます。

その記述がある地名の一つが、飯梨地区にある標高207・8mの「車山（奈良時代の名称は暑垣山）」。当時は美保湾周辺を見渡すことができたことから、敵襲を知らせる「のろし」を上げる場（烽）として重要な地でした。現在も山頂には石塊が残っており、安来市指定文化財になっています。

そうした歴史的価値や見晴らしの良さから、車山は、登山客がしばしば見られます。登山道は、岩舟古墳近くから入るコース、広域農道側に近いコース・田頼町側のコースの3ルートがありますが、岩舟コースが一番のおすすめ。登山口付近には土地所有者の厚意からできた駐車場があり、「環境保全の会」によって年に2回（6月頃・10月頃）環境整備が行われ、駐車場周辺や登山ルートが美しく保たれています。

また、岩舟コースは歩きやすくもあり、ラクダのごぶのような2回のアップダウンはありますが、傾斜がきつい箇所が少なく、30分あれば頂上までたどり着くことができます。地域の人からも愛されており、毎年花見登山が行われ、老若男女約30人が登山と景色を楽しんでいます。

編集後記

安来市の人口と世帯数 R6.6.30現在

人口合計／ 35,467人
(男:17,092人 女:18,375人)
世帯数／14,297世帯

▼スマホカメラの高性能化と手軽さで、写真にこだわる機会もなく今まで過ぎていました。広報担当になったおかげで屋外・室内・夜間での撮影はどうあるべきか悩まされる日々を過ごしています。ホタル撮影には3夜も通ってしまいました。ホタルの放つ幻想的な灯を映し出せているとよいのですが。（た）

▼今月号から少しの間「とびくす」でインスタグラムなどに投稿している写真を紹介します。安来市内で撮影したきれいな風景や季節の花などを、毎週金曜日投稿していきますので、ぜひフォローをお願いします。安来に住んで長いですが、まだまだ知らないことも多いので「この場所のここがきれい」など情報提供もお待ちしております！（岩）



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。